

# 1. 学校マネジメントの深化

## 【観点Ⅲ】「極小規模校における意思決定と業務改善」

事例⑤

### 取組実践校：竹田市立菅生小学校（児童数16名 職員8名）

- 取組① 学校運営組織の見直しと協議題の分類
- 取組② 「稟議」（机上回覧決裁）と職員朝会による意思決定

#### 取組①

～極小規模な学校で運営委員会と職員会議の構成員がほとんど重なる場合は、運営委員会と職員朝会等で分掌間の意思疎通は十分であるとして、**職員会議を置かない**ことも考えられる。  
 「芯の通った学校組織」推進プラン第3ステージ p15]

- 職員会議を廃し、意思決定・伝達の効率化
  - 各種委員会のメンバーを一本化
  - 協議題を分類し、効率化
- **机上提案、「稟議」を活用**

- 机上提案または「稟議」として扱う議題の例
- ・音楽祭練習計画
  - ・各種集会提案
  - ・修学旅行（周知のみ）
  - ・図書集会
  - ・就学時検診
  - ・環境集会・授業
  - ・地区児童会
  - ・元気アップ週間

稟議（回覧）の順序は特に決めない。提案者に近い順など、効率よく稟議（回覧）できるように。

#### 取組②

**稟議（机上回覧提案）**

提案日 (10)月(4)日

提案者氏名 ○ ×

議題 元気アップ週間の取組計画について

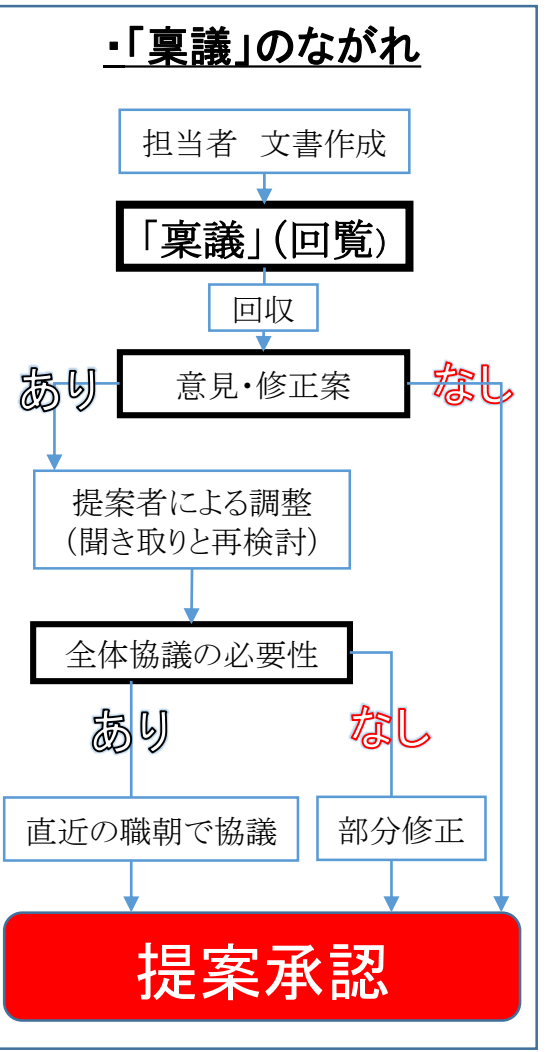
稟議(回覧)終了希望日 (10)月(11)日まで

確認欄

	○印またはサイン	意見・修正案等
校長	○	元気アップ週間、セミナーアワードなどの取組が、子どもや家庭に伝達し、(注) 発議の旨が、わかりやすく、細かく伝わる。
教頭	○	大変かもしねる。運営準備は、年度のように、担任からのコメントを入れてほしい。次の取組も、必要か。
A	○	
B	○	
C	○	
D	さいご	
E	○	・お礼状の作成
F	○	・お礼状の作成

提案に対して、同意・賛成の場合○印またはサイン。

提案に対して、意見や修正案がある場合のみ記入。



#### ◎具体的な成果

- 【R3年度「稟議」として扱う協議題…のべ62本】
- ◆ 月に1回水曜日の午後、会議、研修のない日を持つことができた。
- ◆ 水曜日にあわせて月、火曜日に会議の準備の必要がなくなった。



- ☆ポイント
- 教材研究、授業準備、休暇取得等の時間確保。
  - 月、火曜日に心理的な余裕。
  - 各自のタイミングに合わせて提案、承認。